

令和6年度

市民と語る会 を開催しました！

本年度で4回目となる市民と語る会を実施しました。

市民と語る会は、市議会基本条例に基づき実施するもので、市民の皆さんの多様なご意見・ご要望等を把握し、議案審査等への活用や政策へ反映させることを目的としています。議員は、議長も含めた20名が5名ずつ4つの班に分かれ、分担して会場に伺いました。

自治振興区単位での取り組みについては、これまで市内21会場で11月中に実施していましたが、今年度は事前に開催希望をお伺いし実施する方法に改め、7月12日から11月22日まで16会場で実施し、計308名の方にご参加いただきました。

また、さらなる広聴活動強化を

目的に、昨年度より5名以上で開催希望日の2カ月前の月末までにお申し込みいただければ、議員が希望の場所にお伺いさせていただきます。く「市民と語る会 井戸端スタイル」については、4月から募集を開始し、4件のお申し込みがあり、計32名の方にご参加いただきました。

●自治振興区単位の実施状況

NO	地域	地区	開催日	会 場	テーマ	担当班	参加者数
1	庄原	庄原	8月27日(火)	庄原自治振興センター	・地域の生活課題の解決 ・地域の教育条件の充実	4班	39人
2	庄原	峰田	7月19日(金)	峰田自治振興センター	・人口減少	4班	17人
3	庄原	敷信	10月4日(金)	敷信自治振興センター	・議員定数の改正 ・空き家対策	1班	13人
4	庄原	東	7月12日(金)	東自治振興センター	・今、振興区に求められること	2班	22人
5	庄原	北	11月12日(火)	北自治振興センター	・10年先の庄原市を見据えて	4班	6人
6	西城	西城	11月14日(木)	西城自治振興センター	・子育て支援の施策の充実	1班	39人
7	東城	小奴可	7月23日(火)	小奴可自治振興センター	・議員の描く自治振興区像 ・地域の環境(道路、スポーツ広場)	2班	19人
8	東城	八幡	11月19日(火)	八幡自治振興センター	・地域交通	3班	11人
9	東城	田森	11月22日(金)	田森自治振興センター	・行政と住民とが一体となった地域環境整備のあり方 ・栗田小学校統合後における学校跡、跡地利用を通じての地域活性の方向	1班	16人
10	東城	東城	11月15日(金)	東城自治振興センター	・東城地域における災害対策	2班	15人
11	東城	帝釈	7月22日(月)	帝釈自治振興センター	・自治振興区のあり方 ・地域交通 ・農地利用地域計画	1班	31人
12	東城	久代	11月20日(水)	久代自治振興センター	・特産品振興とその高齢化対策	4班	7人
13	口和	口和	11月11日(月)	口和自治振興センター	・耕作放棄地対策と地域景観保全	3班	18人
14	高野	高野	7月18日(木)	上高自治振興センター	・地域交通	3班	14人
15	比和	比和	11月8日(金)	比和自治振興センター	・持続可能な地域づくり	2班	10人
16	総領	総領	7月24日(水)	総領自治振興センター	・持続可能な地域社会づくり ・公共交通システムの再編	3班	31人
合 計							308人

●井戸端スタイルの実施状況

NO	申込者名	開催日	会 場	テーマ	担当班	参加者数
1	庄原の人口問題を考える 民間会議	7月11日(木)	庄原市ふれあい センター	・若者と子供が激減する中でいかに して庄原の消滅を防ぐのか	1 班	4人
2	三河内寿老人クラブ	7月17日(水)	三河内小和田南 集会所	・米価の低迷問題 ・学校の統合問題 ・地域観光の取り組み ・老人会の今後の取り扱いについて	2 班	13人
3	庄原の人口問題を考える 民間会議	10月16日(水)	庄原自治振興センター 研修室B	・若者と子供が激減する中でいかに して庄原の消滅を防ぐのか	3 班	5人
4	議員さんと語る会	11月4日(土)	庄原駅舎 地域交流室	・子どもたちと多世代の集いの場整 備事業 ・市職員の早期退職に関わる課題と 解決策 ・年度当初の事業計画の公報 ・自治会に加入しない背景がある問題 ・事業の優先順位	4 班	10人
合 計						32人

各会場で寄せられた意見から一部を抜粋してお知らせします。

■人口減少について

意見 大学生や子どもたちに有機農業を体験させ、地域に定住してもらうことで人口減少対策につなげていくのではないかな。

回答 体験で作物を作っても、商業ベースに乗ることは難しい。特に有機農業については研究が進んでいるものの難しいと認識している。

意見 合併当初は人口約4万4千人だったが、現在は約3万1千人に減少しており、主な原因は出生数の減少（年間約150人）と死亡数（年間約600人）と考える。

これらの対策について、庄原市はどこに重点を置き、どのような具体策を講じるのか。

回答 人口減少対策については、市が長期総合計画を立て対応している。議会としては、計画内容の進捗について注視し、今後市と連携して対応策を模索していきたいと思っている。

意見 人口が減少している現状について、スマートシティの考え方を取り入れる必要があると考えるがどうか。

回答 市のコンパクトシティ構想は、「庄原市街地」「西城」「東城」に人を集中させていくものだが、その他の周辺部のことを考えていないわけではない。構想はあるが、実現に向けての動きはまだ先になると考える。実施においては、国、県主導での積極的な施策が必要と考える。

■自治振興区

あり方について

意見 自治振興区制度がスタート

して20年目を迎え、様々な課題が出ている。仕事量が増え、さらには統廃合問題と同時に職員数や経費の削減も議論されている。自治振興区の規模が大きければいいというものではない。職員への待遇も悪いので、市としてしっかりとした考えを持つてほしい。

回答 自治振興区が活動するうえで、人口減少や役員のなり手不足等の問題に対しては、事務職員の待遇や行政からの業務量増加などの原因を改善する必要があると考えている。

意見 「地域の人口が500人を下回れば合併しろ」という指示はあつてはならないし、自治振興区の規模は人口だけではない。職員の待遇改善を検討し、人員削減の話は出さないでほしい。

回答 人口減少に伴い、活動が困難になった自治振興区は合併を、といった声もある。それぞれの

事情が違い簡単に結論が出る問題ではない。昨年開催された令和6年度庄原市自治振興区連合会の総会においての組織検討方針として、人口500人以下でかつ活動が困難となっている自治振興区、又は組織再編の必要性を認識している自治振興区は組織の見直しを協議すると示されている。

■地域交通について

意見 タクシー業界は営利目的であるが、公共交通で成り立っている補助金などをもらっているはずだ。それをどこに使用しているのか。タクシー会社や公共交通の会社へ地域の人が困っていることを力強く議会、行政から要請してもらい、より良い公共交通が実現できるようにしてほしい。

回答 タクシー業界への補助については一般的には行っており

ず、市民タクシーや乗り合いタクシーなどの公共性の高いものに関して補助を行っている状況である。タクシー会社に状況を聴くと運転手不足が一番の課題となっており、運転手に無理をお願いして稼働しているとの回答があった。市民交通について、タクシーだけで考えることは難しい。市民の皆さんが本当に困っていることを知る中で、議会としても今後の対応を検討していかなければならないと考えている。

意見 八幡の市民タクシーは全域ではなく谷あいの地域のみ運行されている。路線バスが走っている所も走れたら使い勝手が良いと思う。学生利用、通院など様々な視点で広域運行にすれば利用者も事業者も助かると思う。

回答 路線バスが走っているところは、区域やダイヤなどの条件でデマンド交通を走らせるのが

難しく、地域交通事業者とのすみ分けもあり、地域でいろいろな議論をされているが、法律との兼ね合いもあり難しい状況である。

意見 路線バスがあっても、細かいニーズに合わせてMaasを走らせてはどうか。もっと細かいニーズに合わせ、パズルのようにピースをはめていかないといけないのではないか。

回答 Maasは国費で実証実験を重ねているが、使い勝手が悪いという声もある。また、自治振興区にタクシーを配置してはどうかと思うが、運転手確保の問題もある。交通事業者への2種免許取得費用の補助や、地域内の公共交通機関が繋がるようダイヤの見直し等、様々な対策を検討すべきと考える。

意見 高齢者の免許返納について、庄原市では単年度での助成と

なっているが、生活していく上で不十分と思う。このことについて議員の考えを伺う。

回答 市内でも、地域により公共交通の状況や高齢化率等の条件が異なるため、実情に合わせた対応が必要であり、地域ごとに市民の方の声を確認しながら、システムを構築していく必要があると考える。他の市町では様々な施策の事例もあるため、既存の助成制度、タクシー券のあり方についても考える必要があると思う。

子どもたちと多世代の集いの場整備事業について

意見 市民への広報と意見聴取に関して、事業計画が市民に十分伝わっておらず、市民の声を聴く機会が少ないと感じているので、事前に、市民に対し計画概要を周知し、意見を求める機会を設けてほしい。

回答 市の事業計画については、庄原市のホームページに掲載し、パブリックコメントを実施するなどして市民への周知に取り組まれている。今後、「広報しよばら」等を通じた情報発信や市民の意見収集等が適宜行われるよう注視する。また、計画変更が生じた際には、議会に議案として提出され、議会を通して進めていくことになる。

多くのご意見をいただきありがとうございました。紙面の都合上、すべてを掲載することはできませんが、その他のご意見やアンケート結果等につきましては、こちらのQRコードからご覧いただけます。

